

今月の記事

_		7. 7	•	
	OD		D'	W C
4	VP.	T.4	V	MN

0	イタリアのNICT	である学術移動・	同等性セン
	ター (CIMEA)	と覚書を締結	•••••1

〇 令和元年度人材育成セミナー「大学等のIR実 務担当者向けワークショップ」を開催

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象と する単位積み上げ型の学位授与関係

科目等履修生制度の開設大学一覧

○ 令和2年度版を当機構ウェブサイトに掲載

•••••3

評価事業

機関別認証評価等について

○ 評価結果(案)の取りまとめ ・・・・・・・・・4

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○ 中国の私立高等教育の質保証に関する国際会議で当機構教員が講演 ・・・・・・・・5

機構の窓

〇 会議の開催状況

主要行事日程

O Schedule (2月~4月)

TOP NEWS

○ イタリアのNICである学術移動・同等性センター(CIMEA)と覚書を締結

当機構は、イタリアのナショナル・インフォメーション・センター(NIC)である学術移動・同等性センター(CIMEA: Associazione CIMEA)と、高等教育資格の承認の分野における一層の連携強化を図るため、令和2年1月29日に覚書を締結しました。当機構の高等教育資格承認情報センターは、ユネスコの「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約(東京規約)」に基づく日本公式のNICであり、日本を中心に各国の高等教育制度や資格に関する情報提供を行っています。一方のCIMEAは、欧州のリスボン規約に基づくNICとして、エラスムス事業を通じたNICネットワークプロジェクトを主導するなど、国際的にも積極的な役割を担っています。

当機構は、令和元年5月にCIMEA代表団の訪問を受け、覚書を締結することについて合意しました。令和2年1月中旬には、当機構から4名の職員が、初のスタッフ交流事業としてローマのCIMEAオフィスを訪問し、Lantero代表による覚書への署名が行われました。さらに、同月29日に福田機構長が署名を行い、覚書の締結にいたりました。

今後は、両国の教育制度・資格に関する情報の共有や国際プロジェクトへの共同参画などを通じ、NIC としての専門的機能を高め、高等教育での学びを希望する方と教育機関双方への支援の強化につなげていきます。



Lantero CIMEA 代表による覚書への署名



福田機構長による覚書への署名

○ 令和元年度人材育成セミナー「大学等のIR 実務担当者向けワークショップ」を開催

当機構は、令和2年1月31日(金)に学術総合センターー橋講堂にて、令和元年度人材育成セミナーを開催しました。

当機構では、平成29年度より大学及び評価機関等の質保証に係る人材の能力向上を目的として、「人材育成セミナー」を開催しており、令和元年度は「IR(インスティテューショナル・リサーチ)」をテーマに、大学等の幹部教職員向けセミナーを11月に、実務担当者向けワークショップを1月に企画しました。今回は大学等のIR実務担当者向けワークショップとして、山形大学学術研究院教授浅野氏及び藤原氏をお招きし、大学等のIR実務担当者を中心に41名(教員10名、職員28名、その他3名)の参加がありました。

当日のプログラムは午後1時から始まり、長谷川理事の開会挨拶後、浅野氏による講義・前編において、高等教育におけるIRに関する研究の紹介から始まり、日本の大学や山形大学における取組状況や、IR活動を円滑に行うために山形大学で策定したルール等具体的な事例に触れることで、IR活動に必要な環境や、円滑なIR活動によって得られる組織的な効果について理解を深めるとともに、高等教育におけるIRの重要性について、改めて会場全体で意識を共有しました。

続いて、藤原氏の講義・後編では、山形大学で作成している分析 レポートを例に、公開データの有用性やレポート作成例について説 明があった後、実際にレポートを操作しながら、入試広報戦略や他 大学とのベンチマーク等への活用例について紹介がなされ、データ の可視化による意思決定支援の重要性について理解を深めました。

演習では、講師から提示された「ダイバーシティ」を題材に、大学ポートレートセンターが提供している分析レポートを参加者が自ら操作する実戦形式のグループワークを行いました。分析レポートから明らかとなった事実に自分なりの解釈を与え、エグゼクティブ・サマリーとして要約することを通して、IR担当者が求められる"データを分析し、自分なりの解釈を人へわかりやすく伝えるスキル"を身に着けるとともに、グループ内の議論や全体発表を通して、自身の所属機関における状況や、解釈の方法について活発な意見交換が行われました。

最後に、浅野氏及び藤原氏からの講評をもって、ワークショップ は盛況のうちに終了しました。



講義を行う浅野氏



講義を行う藤原氏



グループワークの様子



全体発表の様子

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

■科目等履修生制度の開設大学一覧

○ 令和2年度版を当機構ウェブサイトに掲載

当機構では、科目等履修生として学習することを希望する方々が、大学の学部や大学院研究科を選ぶ際の参考となるよう、国公私立大学を対象として科目等履修生制度の開設状況の調査を行い、その回答結果を取りまとめた上で当機構のウェブサイトで公表しています。原則として令和2年度の開設状況等について掲載するようにしておりますが、調査の時点で未定の場合には、前年度の実績を掲載しています。

なお、当機構の学位授与事業に関連して、科目等履修生に対し特別なプログラムを設けている大学や、 高等専門学校を卒業後に、専門に関係する学修を継続したい方に向けて、通信教育課程を開設している大 学も紹介しています。

評価事業

機関別認証評価等について

○ 評価結果(案)の取りまとめ

令和元年度の認証評価については、7月から12月初旬にかけての書面調査及び訪問調査を基に、それぞれの評価部会において「評価結果(原案)」を作成し、令和2年1月開催の大学機関別、高等専門学校機関別及び法科大学院の各認証評価委員会での審議を経て、「評価結果(案)」を取りまとめました。

「評価結果(案)」は、評価の透明性と正確性を確保するため、各受審校に通知し、意見の申立ての 手続を経た後、各認証評価委員会において「評価結果」が確定します。

確定後、「評価結果」は、当該受審校及び設置者へ通知し、文部科学大臣に報告するとともに、「令和元年度認証評価実施結果報告」として、当機構ウェブサイトへの掲載により、広く社会に公表します。

質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○ 中国の私立高等教育の質保証に関する国際会議で当機構教員が講演

令和元年12月14日(土)、中国の私立高等教育の質保証をテーマとした国際会議「私立大学における質保証・危機管理フォーラム」が、中国私立教育協会評価センター(Education Evaluation Center of China Association of Non-government Education)等の主催により中国・上海にて開催され、中国の私立高等教育機関や海外の質保証機関などの約100名の関係者が出席しました。

当機構からは、Jagannath Patil研究開発部特任教授(インド国家評価アクレディテーション審議会(NAAC: National Assessment and Accreditation Council)アドバイザー)と国際課職員が出席し、Patil特任教授が「高等教育の質保証に関する国際的な動向と優良事例」と題し、基調講演を行いました。質保証の国際的なネットワークであるアジア太平洋質保証ネットワーク(APQN: Asia Pacific Quality Network)や高等教育質保証機関の国際ネットワーク(INQAAHE: International Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education)などの会長を歴任し、高等教育の質保証に造詣が深いPatil特任教授ならではの知見を基に、インドをはじめ世界の国々における私立高等教育セクターのトレンド及び質保証の位置づけ、国際的な質保証ネットワークの役割や高等教育の質保証の優良事例について、講演が行われました。

また同会議では、高等教育の専門家から、少子化の時代にあって、私立高等教育機関の生き残りのためには、教育の質の向上、市場のニーズに沿った差別化、多様な財源の確保が重要な鍵となるとの指摘があったほか、私立教育専門の質保証機関からは、私立教育の実情にあった質保証体制の構築に向けた取り組みの紹介がありました。

このほか、4年制大学へ昇格を果たした私立大学や、中国と海外の教育機関が共同で実施する中外共同運営教育を行っている大学から、教育の質の向上を目指し、学習成果に重きをおいた内部質保証の取り組みについての優良事例の紹介がありました。



基調講演を行う Patil 特任教授

機構の窓

○ 会議の開催状況

- 大学機関別認証評価委員会
 - 第3回 令和2年1月22日(水) 14時00分~17時00分

議事

- 1 評価結果(案)について
- 2 令和2年度 評価部会及び専門部会の編成について
- 3 学校教育法等の一部を改正する法律等の施行に伴う実施大綱等の改正について
- 高等専門学校機関別認証評価委員会

第2回 令和2年1月24日(金) 14時00分~17時00分

議事

- 1 評価結果(案)について
- 2 高等専門学校機関別認証評価実施大綱等の改定について
- 3 令和2年度 評価部会及び専門部会の体制等について
- 4 その他
- 法科大学院認証評価委員会

第3回 令和2年1月30日(木) 14時30分~16時30分

議事

- 1 評価結果(案)について
- 2 「教育課程、教員組織その他法科大学院の教育活動全般に係る重要な変更又は状況の変化」に対する評価結果への付記事項等について
- 3 法科大学院評価基準要綱の改定について
- 4 令和2年度評価部会等の編成について
- 5 法科大学院認証評価検討ワーキンググループの設置について
- 6 その他

主要行事日程

O Schedule

2月			
		行事名	担当課
	1 ⊟~28⊟	イタリアCIMEAとのスタッフ交流(派遣)	国際課
	5⊟	国立大学教育研究評価委員会(第56回)	評価企画課
	21日	学位審查会(令和元年度第4回)	学位審査課
	26⊟	令和2年度教育の実施状況等の審査に係る説明会	学位審査課
	26⊟	令和2年度特例適用専攻科における教育の実施状況等の審	学位審査課
		査に係る説明会	
	28⊟	学位記伝達式•講評	学位審査課

3月

В	行事名	担当課
10⊟	大学機関別認証評価委員会(第4回)	評価支援課
13⊟	高等専門学校機関別認証評価委員会(第3回)	評価支援課
13⊟~	令和2年度4月期学位授与申請(データ入力)受付期間	学位審査課
4月6日	一つ他と牛皮牛力朔子世段サ中語(ノーダ人力)文刊規同	子世番宜味
17⊟	法科大学院認証評価委員会(第4回)	評価支援課

4月			
	В	行事名	担当課
	1⊟~7⊟	令和2年度4月期学位授与申請(書類送付)受付期間	学位審査課





